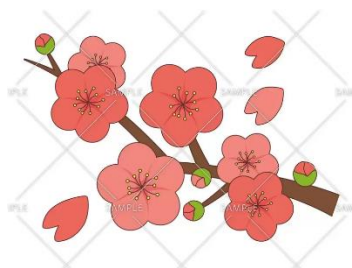


学校だより 2月号

令和7年2月1日発行

和歌山市立楠見東小学校

春への準備



早いものでもう2月です。まだまだ寒い日が続きますが、学校では、毎日子ども達の元気な笑い声が響き、まるで一足先に春がきたように感じられます。子ども達は、寒さに負けず戸外でしっかり体を動かして遊んでいます。自然現象の変化を身体で感じ、今の時期ならではの体験をたくさんしてほしいと思います。今のクラスで過ごすのも残り1ヶ月あまりとなりました。過ぎ去っていく時間は二度と戻ってきません。「今この時」を有意義にし、卒業や終了までの時間を大切に過ごしてほしいと思います。

あいさつを通して思うこと

朝、時間が許す限り、正門に立ち交通指導をしています。その時、登校してきた子ども達、また登校中の中高生や、出勤される地域の方々にも「おはようございます。」とあいさつをしています。本校の子どもたちは、私が赴任してきた頃に比べると、挨拶する声が、少しずつ大きくなり自分からあいさつする子も増えてきています。あいさつを交わすだけの

中高生や、地域の方々ですが、不思議なもので正門前を通らない日が続くと、少し心配になったりします。そして、元気な顔を見た時は、とても嬉しくなります。また、大きい声であいさつをし、自転車で駆け抜けていく高校生には、元気をもらえます。

あいさつは、自分の心が開いていることを伝え、目の前にいる相手を認め、好印象を与える行為です。そして、人間関係もスムーズになり、自分の考えや思いが伝えやすくなります。あいさつができる素敵な子ども達を育てていきたいといつも思っています。

おはようございます!!



学校長 塩谷 裕子